

# PTX(q1w)

対象 卵巣癌、卵管癌、腹膜原発癌、子宮体癌

投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	パクリタキセル	80mg/m <sup>2</sup>	div	1時間	day1
2					

1コース期間	毎週
総コース数	PDになるまで
コース間での休薬の規定	Neutro < 750/μL PLT < 7.5万/μL
投与量の増量規定	
減量規定・中止基準	7日間持続するGrade 4の好中球減少(500/mm <sup>3</sup> 未満) 発熱性好中球減少 (腋窩温38.0℃以上、口腔内38.5℃以上の発熱を伴うGrade 3-4の好中球減少) Grade 4以上の血小板減少(25,000/mm <sup>3</sup> 未満)
コースによる変化	なし
投与間隔の短縮規定	なし
2コース目以降の投与開始基準	Neutro < 750/μL PLT < 7.5万/μL
注意すべき副作用	骨髄抑制、末梢神経障害、アレルギー

# PTX(q1w)

1コース期間 7日  
 所要時間 2時間

Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	投与時間	d1
1	カイトリルバッグ 100mL デカドロン 6.6mg (3.3mgまで減量可) ファモチジン 1A ★レスタミン錠50mg 内服		div	400mL/h	15min	○
2	生食 100mL 1B		div	200mL/h	30min	○
3	生食 250mL 1B パクリタキセル 【        】mg	80 mg/m <sup>2</sup>	div	250mL/h	1hr	○
4	生食 50mL 1B		div	200mL/h	15min	○

### コメント

- ・点滴開始時、レスタミン錠(50mg=5T)内服
- ・次回投与時までには過敏症状の発現がみられなかった場合、次クールよりDEX3.3mgに減量し投与してもよい。

Reference: